シアターキノ24周年記念　スタンプラリー

この夏、日本映画がクールで熱い！

今年もまた、ミニシアター向けの日本映画の期待作が続々公開になります！それらの多くは演劇界やTVなど、様々な分野からの新しい才能でもあります。そして、それに応えるのが、活躍めざましい役者たちです。特に近年の樹木希林さんや若手の門脇麦さん、二階堂ふみさん達の挑戦ぶりには、期待をはるかに上回るものがあります。シアターキノが24周年を迎えるにあたり、彼女たち名女優に敬意を表し、記念のスタンプラリーを開催いたします。映画制作に携わるキャストスタッフの皆さんへの想いをこめて、どうぞお楽しみください。（詳細はキノロビーの掲示や、キノHPをご覧ください）

「二重生活」（6月25日～）「ふきげんな過去」（7月2日～）の2作品に加え、下記の対象作品のどれか一本を観てご応募ください。

7月中旬 公開	「海よりもまだ深く」「歩いても歩いても」
8月6日　公開	「いしぶみ」「葛城事件」
8月13日 公開	「太陽の蓋」「大地を受け継ぐ」

太陽の蓋

葛城事件

3作品有料で完走された方から、抽選で下記の賞品をプレゼント！

樹木希林賞	キノ 半年間フリーパス券	1名様
二階堂ふみ賞	キノ 2か月間フリーパス券	2名様
門脇 麦賞	キノ 1か月間フリーパス券	2名様
小泉今日子賞	キノ ご招待券	24名様

続々、先行上映＆特別上映！

6/9（木）「FAKE」先行上映　森達也監督トーク
① 19:00～ 上映後トーク（終了予定 21:15）
② 20:00～ 上映後トーク（終了予定 22:20）

6/26（日）「わたしの自由について」特別上映　15:00～ プラザ2･5（狸小路5丁目）にて

7/13（水）「オーバーフェンス」先行上映　山下敦弘監督トーク

7/15（金）「いしぶみ」先行上映　是枝裕和監督トーク

8/10（水）「大地を受け継ぐ」先行上映　井上淳一監督トーク

「二人の王女がお忍びで街に出るという設定がとてもエキサイティングだった。」とジュリアン・ジャロルド監督。「誰もが興味を抱く実話だ。でも僕たちは正確に何があったのかは知らない。だからこれは、実話から着想を得た、ちょっとしたファンタジーなんだ。」監督は女王の少女時代に関して多くの伝記に徹底的に目を通した結果、戦勝記念日の祝祭で目にしたものや感じたことの余韻が、若きエリザベスに大きな影響を与えたことに気づいたと語る。「大戦中は、王宮を含めてイギリス中が厳戒態勢だった。食料は不足していて、王女たちはほとんど外の世界に出たことがなかった。そこへ軍隊が帰還しはじめ、周囲に突然、色と光が流れ込んできた。だから本作は、逆さまのおとぎ話なんだ。王女が宮殿を抜け出て、民衆たちの魔法の世界へと入っていく。」

最大の難関は誰がエリザベス王女を演じるのか…。

「王女に変身できるだけでなく、1945年の世界に違和感なく馴染み、19歳に見える女優を探さなければならなかった。」

サラ・ガドンが王女役を射止めるが、あまりに演技が素晴らしく、正式にオファーするまで彼女がカナダ人であることを知らなかったという。ガドンは役作りについて王室についての文献などを参考にして「王女という身分の背後にいる少女を演じた」という。

こうして「ローマの休日」誕生秘話とも言われる感動の一夜が再現されました。

夢と仕事を求めてアメリカに移り住む人は、第2次世界大戦後も後を絶たなかった。その入り口でもあるニューヨーク、1950年代のブルックリンにアイルランドからやってきたエイリッシュの旅は、内気な少女が洗練されたニューヨーカーとして新しい生き方を選ぶ物語。そして4人に1人がアイルランド系アメリカ人と言われるアメリカの基礎を作った人々がたどった歴史の一片を静かに語る物語でもある。

ヒロインにはリアルに演じられる女優が求められ、親がアイルランド人でニューヨーク生まれ、アイルランドのダブリン郊外で育ったシアーシャ・ローナン以上に適した女優はいなかった。シアーシャは「80年代ニューヨークに来た両親が経験した旅と同じことを、時代は違うけれどエイリッシュは経験したのだから、胸に迫るものがあった。」と語っている。

彼女は13歳の時「つぐない」でアカデミー助演女優賞ノミネート、「ハンナ」で共演したケイト・ブランシェットからは「シアーシャの時代が来るわ」と言われ、その後もアカデミー4部門受賞の「グランド・ブダペスト・ホテル」などに出演。シアーシャはこの映画の舞台となる2つの国を生まれながらに経験していただけでなく、控えめだが強い感情表現が求められる役を演じる準備を20歳になるまでに整えていたことになる。

監督は「運が良ければ、生涯に一度だけ役者と役が交わるチャンスに出会える。シアーシャはこの役を完全に彼女のものにして、そんな瞬間を経験させてくれた。」と魅力を語る。

MÉMOIRE
VINTAGE SHOP
vintage shop Mémoire(メモワール)
札幌市中央区南2条西6丁目5番地 土肥ビル3F
open 13:00 - 20:00 / 不定休
☎080-5832-6748　✉info.memoire@gmail.com
http:// memoire-m.tumblr.com

kino cafe
キノカフェ
札幌市中央区南３条西６丁目 南３条グランドビル２Ｆ
（シアターキノロビー隣）tel 011-231-9775
open　11:00-19:30 (Lo19:00)
closed　火曜日、第２・４水曜日

もっと、ひとと、髪を想う空間に。
atelier cerca
［アトリエ セルカ］
札幌市豊平区月寒東5条11丁目5-8
地下鉄東西線南郷13丁目 2番出口徒歩9分
中央バス 月寒東5条11丁目すぐ
TEL･FAX 011-313-2697

さわらびしんきゅう
早蕨鍼灸

成功する不動産売買
LIVABLE
東急リバブル
不動産売買の無料相談窓口
東急リバブル株式会社　円山センター
札幌市中央区南１条西２５丁目１-１７ マルヤマエスワンビル３階
フリーダイヤル ０１２０－１０９－６０６
http://www.livable.co.jp/branch/maruyama/

ELSKA
Est.2015
ビストロ エルスカ
LUNCH　11:30-13:30
DINNER　18:00-22:00
BAR　22:00-25:00
定休日 ※水曜日はランチタイムなし
札幌市中央区南3条西6丁目13-1
TEL/FAX:011-312-0393

広告募集中！
1枠（縦24mm×横48mm）¥5,000　15,000部発行
詳しくはお問い合わせください　011-231-9355（シアターキノ）

今号のごあいさつ

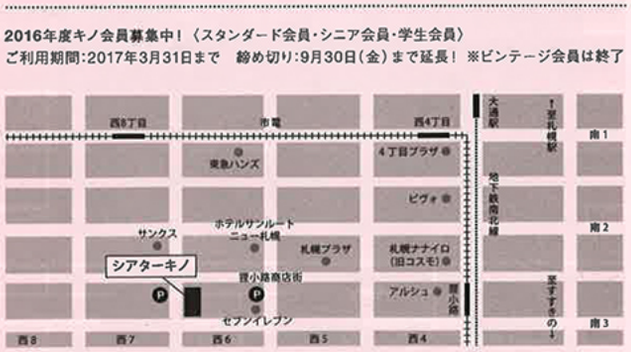
ライラックの花が咲きはじめ北海道の一番よい季節に入りますね。夏の号が出来上がりました。キノ24周年記念作品「スポットライト」はたくさんの皆さまに見ていただいていてロングラン上映中、とても嬉しいです。6月から秋にかけて注目の日本映画が目白押し、夏のスタンプラリーも始まります。トップバッターは岸善幸監督劇場デビュー作「二重生活」。人間の本質に迫るスリリングな展開、役者さんたちの競演も見どころのひとつです。

1月に来ていただいた是枝裕和監督はお約束通り7月にお越しいただきます。戦争の記憶を語り継ぐ「いしぶみ」先行上映、「歩いても歩いても」から「海よりもまだ深く」へとつながっていく自身の記憶を反映した作品など、お話が楽しみです。

女優さんたちが輝いていて共感を呼びそうです、今年90歳のお誕生日を迎えたエリザベス女王が19歳のとってもチャーミングな王女時代の「ロイヤル・ナイト」、大人の女性へと成長してゆく「ブルックリン」。ガーデニングの世界に新風を巻き起こした「フラワーショウ！」、完成したお庭は神殿のような荘厳さ、感動です！トルコ出身の監督のトルコ語映画がアカデミーのフランス代表に！少女たちのみずみずしさ、その瞬間を切り取った「裸足の季節」、今年の夏、キノの映画たちでおたのしみください。

支配人　中島ひろみ

2016年度キノ会員募集中！〈スタンダード会員・シニア会員・学生会員〉
ご利用期間:2017年3月31日まで　締め切り:9月30日（金）まで延長！ ※ビンテージ会員は終了



THEATER KINO
札幌市中央区狸小路6丁目南3条グランドビル2F
TEL 011 231 9355
www.theaterkino.net / webmaster@theaterkino.net